

活動テーマ 守山市立守山中学校

持続可能な循環型社会を構築する 創造的な人間の育成をめざして

実践事例について

本校は、平成28年11月に「琵琶湖からの風」や「太陽光」などの自然のエネルギーを最大限利用することにより、『消費エネルギー0』を目指すスーパーエコスクールとして、新校舎での生活をスタートさせた。新校舎を教材として、身近な生活環境を見直し、学校や家庭でエネルギー消費を抑制できることに気づき、地球温暖化の防止に向けた生活を営むことができる生徒を育成するために、3年間の系統立てた環境学習を行っている。

1. 継続した環境教育をめざして

本校の環境教育の取り組みが数年で終わってしまうものにならないために、以下の3つを大切にしてきた。

〈体験〉

生徒たちが体験を通して自ら課題を見つけ、仲間と協力して解決方法を見つけ出し、いけるようなカリキュラム作成を行った。

〈連携〉

学校外の地域の方々の力を借りることで継続した環境学習を目指した。

〈発信〉

この校舎で学んだ生徒たちが、学んだことを生涯にわたり家庭や地域、ひいては世界全体に発信することが出来る力をつけてもらうことを目指した。

2. 1年生の学習内容（体験と連携）

(1) 光の授業

新校舎の『自然光利用』の様々な仕組みを理解し、必要な光が確保されているにもかかわらず、気づかないうちに照明を無駄に使ってしまっていることに気づかせる。授業後は、ただ照明器具を利用するのではなく、自然光を組み合わせるようになった。またこの学習を踏まえ、生徒会環境委員会を中心に「その日の環境に応じて照明を正しく利用する」取り組みを継続して行っている。

(2) 滋賀県内 SDGs 学習

事前学習では講義やSDGsについての学習を通してSDGsとは何かについて考えた。校外学習では、琵琶湖博物館で琵琶湖について学んだあと、滋賀県内6か所の施設に分かれてSDGs学習を行った。事後学習では、学んできたことをまとめ、1人1台市から配備されているクロームブックを活用した発表を行った。滋賀県内で行われているSDGsを達成するための取り組みに触れることで、学校生活だけではなく、日々の生活の中で自分自身ができるSDGsを意識した行動を考えた。



3. 2年生の学習活動（体験と連携）

（1）風の授業

校舎に施されている風の流れを作り出す工夫を理解し、暑い日でも風をうまく利用することでエアコンに頼らずとも涼しく過ごせることに気付かせる。授業後は、対角の窓を開け、積極的に風を取り入れようとするようになった。

（2）京都自主研を通じた SDGs 学習

SDGs を達成するための様々な取り組みを、京都の町から発見し、学級ごとに京都市の SDGs マップを作成した。1年生から培ってきた SDGs の視点を生かして、飲食店や観光地など、様々な場所で見つけることができた。



4. 3年生の学習活動（発信）

（1）校内発表会

校舎の仕組みや3年間の環境学習で学んだことを班ごとにまとめ、クラスごとに手分けして2年生に向けて発表した。

3年間のうちコロナ禍で活動できなかったものもあるが、自分たちの代で取り組んだ内容を伝えることができた。

来年度以降は、学習内容をさらに広域に広げていくために、守山エコパークにて開催されるイベントで発表する方向で取り組んでいきたい。

5. 環境宣言（スローガン）

すべての学年で、各学級の環境スローガンを決めた。1年間を通して、自分たちができる取り組みを宣言し、日々の生活で意識ができるように、掲示物を作成した。

6. 委員会の活動

環境委員が毎週照度調べを行い、不要な照明を消す取組を行った。学習に必要な明るさは700ルクスであり、晴れた日の太陽の光は1000ルクスを超えることもあった。700ルクス以上の照度が得られる場合は照明を消し、消費電力

の削減を意識するための呼びかけを行った。

また、校内のごみ拾いや、各教室や中庭に植物を置き、学校に緑を増やすような活動も行っている。

7. 成果と課題

校舎が完成して8年。平成29年度の終わりには、一通りのカリキュラムが完成した。以前の修学旅行で、ガイドさんから「守山中学校の良いところはどこですか」と尋ねられて誰も何も答えられなかったことが印象に残っている。小学校訪問を終えての感想に多くの生徒が「全国に7つしかないスーパーエコスクールである守中に誇りを持てた。」と書いていた。

入試の面接で「守山中学校の良いところはどこですか」と尋ねられたときにスーパーエコスクールの話をし、面接官がすごく感心して聞いてくれてとてもうれしかったと報告してくれた生徒もいた。また、発表を聞いてくれた6年生の多くが感想に、「1年生の環境学習がとても楽しみになった。ぼくもこんなカッコいい中学生になりたいと思った。」と書いてくれた。実際1年生では、「昨年、今年と1年生の環境学習に対する意気込みが今までと違う」と教員も感じている。

令和7年度の課題は、環境学習で学んだことを、いかに主体的に実践できる生徒を育てるかである。生徒達は環境学習を楽しく学び知識を身につけることができたが、学んだことを行動に結びつけるのはむずかしいという課題が、生徒アンケートの結果が分かってきた。今後も「体験」「連携」「発信」の3つの点を柱として、生徒にとってより楽しく為になるように、教員には、よりやりがいのある環境教育とするため、さらにカリキュラムの精選をすすめていくことが必要だと考えている。

学校名	守山市立守山中学校
住所	守山市石田町350番地
電話番号	077-585-0321
E-mail	morichu@city-mariyama.ed.jp